

1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	30年度事業・施策評価結果		責任者	企画調整室 環境担当課長	
施策名	良好な港湾環境の形成	成果	コスト			
事務事業名	西部地区海域環境創造事業			連絡先	052-654-7892	
目的	対象(誰・何を)	西部地区海域の一部			事業期間	令和元~5年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	海生生物の生息に適した場とします。				
概要	名古屋港西部地区の海域において、浅場を造成し生物生息場の創出を図ります。				根拠法令等	
令和元年度の実施予定	現況把握及び基本計画調査を行いました。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
					関連シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	西部地区木材港において、生物調査等の現況調査を行い、造成する浅場の水深、造成材等計画の検討を行いました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円			16,115	16,115	
人件費	千円			6,422	6,422	
合計	千円			22,537	22,537	

3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	最終目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
生物生息場の整備の進捗状況(全3工程) (進行管理型)	目標			1		3	以下の項目のうち、完了した工程数を合計します。 【①計画、②設計、③整備】	
	実績			1				
	事業進捗状況(元年度)				順調・やや遅れ・遅れ			
	目標							
	実績							
事業進捗状況(元年度)								
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	必要な現地調査、計画づくりが予定通り進捗しています。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	持続可能な港湾の開発を行うため、生物多様性に配慮した生物の生息場の創出を図る必要があります。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○	浅場の創出により多様な生物が生息できる良好な港湾環境を形成していくことが期待できます。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○	学識者の助言を受けて効率的な現地調査を行い、調査コストの削減を図っています。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	本港の持続可能な発展に向け、生物の生息場の創出を図る必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			2年度以降の取組
生物の生息環境に適した施設を設計、整備していく必要があります。			生物の生息環境に適した浅場の構造・施工方法等を検討し、整備を進めます。